

Dr.ひろみの



ハッピー子育て

か る た

ひ ろ ば

みなさん、こんにちは！私は父と話した記憶がほとんどなく、両親が離婚して父は長いこと一人暮らしでした。5年前に香川に呼び寄せ、高齢者住宅に住んでいます。先日、久しぶりにお昼ご飯を食べようと声をかけ、うどんが食べたいと言うのでうどん屋に行ったら、「嬉しくて涙がずっと止まらなかった」と言われました。私も父と二人で食事は気恥ずかしいんですが、うどん一杯で親孝行になるなら、もっと誘ってあげようと思いました。今度は蟹料理かな。



☆読み手☆

鈴木 裕美 (すずき ひろみ)
香川大学医学部 小児科専門医

35

やくそく守ると
信頼貯金がたまる
小さな約束
利率が高い

36

さいそくされない
ほっとする
でも信頼貯金は
たまらないかも



今月のかるた解説

子どもに話しかけられた時に「ちょっと待って」と言うことはよくありますね。その「ちょっと」の後、どうしてですか。「ちょっと待って（そしたら話を聞くからね）」という約束です。約束を守ると子どもから信頼されます。それを信頼貯金と呼んでみましょう。小さな約束ほど忘れがちで、子ども本人も忘れていくかもしれません。でも、あなたが覚えていて約束を守ったら、信頼感は大きく高まります。忙しさのあまり「ちょっと待って」を多用し、あわよくば子どもが忘れてくれたら、ほっとすることがあります。でも、仕事が減っても子どもからの信頼貯金も貯まらないでしょう。また、約束を守らない大人との約束も守らなくていいと子どもが学ぶかもしれません。

昔、私が医学生だったころ、子どもは小学生でした。運動会の前日に自宅で外国人の先生のお別れ会をしたことがありました。みんな「明日の運動会は応援に行くね」と言ってくれましたが、実際に来てくれたのは一人でした（出番が終わった昼からでした）。その人は息子と遊ぶ約束をすると雨でも自転車に来てくれました。必ず約束を守る大人を友人にもった息子は、彼自身も約束を守る大人になりました。

良いお年をお迎え下さい

